

科目名	ふじのくに学(お茶) (Fujinokuni Studies (O-CHA))				
開講時期	令和3年度 前期	開講時限	集中講義	単位数	2
科目責任者	* 中村順行				
担当教員	* ステファン・ダントン 他				
授業目標	集中講義と野外実習により、多様な視点からお茶を総合的に学習し、お茶を通じて地域に愛着や誇りを持ち、地域の魅力を発信できる人材を育成する。				
授業概要	農学、作物学、生産から加工・流通までの多様な視点からお茶を総合的に学習する。				
授業方法	集中講義・フィールドワーク				
授業展開	<p>9月6、7、8、9日の4日間を予定(内容については、今後、変更する場合があります)</p> <p>9月6日(月) ふじのくに茶の都ミュージアム</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 講義「茶学概論」</li> <li>2 講義「ふじのくに茶の都ミュージアムの役割とお茶の振興」</li> <li>3 ふじのくに茶の都ミュージアム館内見学・抹茶体験</li> </ol> <p>9月7日(火) オンライン(Zoom)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 講義「世界のお茶、日本の茶」</li> <li>5 講義「川根の茶業と生活・文化について」</li> <li>6 お茶の淹れ方講座</li> </ol> <p>9月8日(水) オンライン(Zoom)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7 講義「静岡茶の流通～過去から現在、そして未来へ～」</li> <li>8 講義「お茶の歴史と文化」</li> <li>9 講義「お茶の価値を高めるマーケティング」</li> <li>10 グループワーク「静岡の茶業が活性化するための展開の仕方」</li> </ol> <p>9月9日(木) オンライン(Zoom)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>11 講義「茶の機能と多用途利用」</li> <li>12 講義「外国人から見た日本茶」</li> <li>13.14 グループワーク「静岡の茶業が活性化するための展開の仕方」</li> <li>15 全体総括</li> </ol>				
履修条件	全学共通科目の「茶学入門」と一部重複するため、「茶学入門」履修者の単位認定はしない。受講は可能。全日程出席を必要とする。				
評価方法	レポート等に基づき判断する。				
テキスト	必要に応じて、資料を配布する。	参考書	特になし		
備考	<p>ふじのくに地域・大学コンソーシアム単位互換協定校及び、南大阪地域大学コンソーシアム広域単位互換協定校の学生を対象とする。定員 40 名。</p> <p>「茶学入門」未履修者を優先する。</p> <p>参加者負担金として、茶道体験代、昼食代(1日目)等を徴収する。</p> <p>また、集合場所までの交通費については、参加者負担とする。</p>				
社会人聴講生	原則聴講不可		科目等履修生 履修不可		